令和7年度　認知症に関する講演会

日時
9/20（土）
13:30~15:25

会場　松山市総合福祉センター
1 階　大会議室

参加費無料
定員 300 名

第１部　ドラマ「記憶の葉っぱ」上映　13:35~14:25

南海放送テレビドラマ（2020 年日本民間放送連盟賞　番組部門　テレビドラマ番組「優秀」受賞）

あらすじ

愛媛県伊方町の一軒家。金森一臣（いちおみ・68 歳）さんと薫（かおる・68 歳）さん夫婦が暮らしている。中学 3 年生のとき、薫さんがラブレターを渡して交際がスタートし、めでたく結婚。それ以来ずっと仲睦まじく二人三脚で生きてきた。性格の明るい一臣さん、天真爛漫な薫さんは、今日も二人仲良く手をつないで散歩をする。
だが、なにかが違う。なにかがおかしい。薫さんは会う人をすべて「おばあちゃん」と呼ぶ。自分の夫・一臣さんさえ「おばあちゃん」と呼ぶのである。・・・薫さんは 14 年前、若年性認知症にかかっていた。
病気の発覚以来、一臣さんは勤め先を早期退職し、薫さんの介護をはじめた。薫さんの症状はゆっくりと進行、それにつれて一臣さんの心身も参っていく。5 年前から、ふと一臣さんは薫さんとの日々を手記にしたためるようになった。それが、文字も理解できなくなった薫さんへの、1975 通のラブレターとなった・・・。

第２部　認知症に関する講演会　14:25~15:25

講　師　ドラマ「記憶の葉っぱ」の主人公のモデルとなった人

金森　一臣 氏
ICHIOMI　KANAMORI

演　題　**薫ちゃんの介護日和**

講師プロフィール

1950 年、伊方町（旧三崎町）生まれ。伊方町役場に長年勤務。妻が 55 歳の時に若年性認知症を発症。役場を 1 年早期退職し、妻の介護に専念。日々の介護や妻への想いを綴り、愛媛新聞へ投稿したところ、多くの反響が寄せられる。また、二人の日々がドラマ化され民放で放送される。約 17 年間の在宅介護を経て、2022 年 6 月に妻は施設入所へ。入所した現在も妻への想いを手紙に綴っている。

応募方法

FAX　e-mail　はがき　申込ﾌｫｰﾑ

住所、氏名（フリガナ）、電話番号を明記のうえ、右記申込み先までご応募ください。

※手話通訳・要約筆記が必要な方はご記載ください。

申込フォームはコチラから⇒⇒⇒

締　切　**先着** 300 名
※定員漏れの方のみ連絡いたします

問合せ先・申込み先

松山市社会福祉協議会
施設管理課　認知症に関する講演会係
住 所：〒790-0808
松山市若草町 8-2
電 話：089-921-2111
Ｆａｘ：089-941-4408
Ｍａｉｌ：center@matsuyama-wel.jp

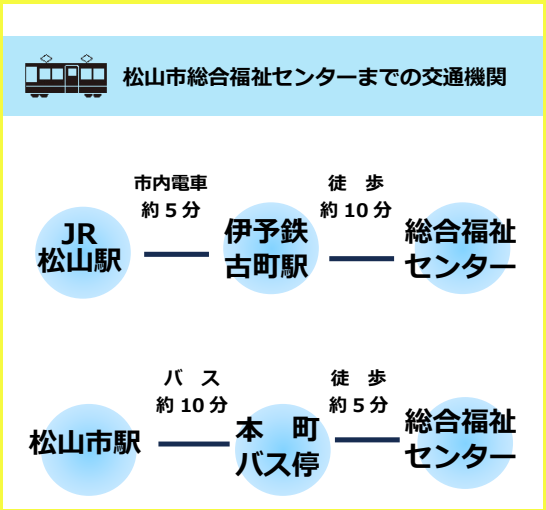
主催：社会福祉法人　松山市社会福祉協議会

参加申込用紙（兼 FAX 送信票）は裏面へ

令和7年度 認知症に関する講演会参加申込用紙（兼 FAX 送信票）

FAX：089-941-4408

申 込 日	令和　　年　　月　　日
フリガナ	
氏　　名	
住　　所	〒
電話番号	
手話・要約 ※必要な項目を○で囲んでください。	① 手話通訳・要約筆記　②手話通訳のみ　③要約筆記のみ ※ドラマ「記憶の葉っぱ」には、手話・要約筆記は付きません。

※この参加申込みで得た個人情報については、松山市社会福祉協議会が定める「個人情報保護規程」に基づき、本講座以外で使用しないことを申し添えます。

駐車場には限りがございますので、公共交通機関もご利用ください。